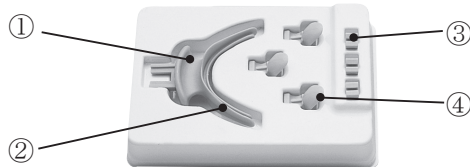


* 機械器具 68 印象採得又は咬合採得用器具
一般医療機器 歯科印象採得用トレー (16350000)

セントリックトレー

【形状・構造及び原理等】

[本体]



- ①リップサポート
- ②リテイニングトラック
- ③レギュラーサポート
- ④サポーティングウイング

[原理]

リテイニングトラックに装着したサポーティングウイングまたはレギュラーサポートに印象材を盛り、口腔内の印象をとる。

[原材料]

ポリアミド、ポリプロピレン

【使用目的又は効果】

印象採得時に、印象材を盛り、保持し、圧接するために用いる。

【使用方法等】

1. 本品は、使用前に必ず滅菌してください。オートクレーブ (130℃以下、乾燥工程なし) による滅菌が10回まで可能です。それ以上行くと、変形が生じる可能性があります。
2. 通法どおり、上下顎の印象を採得します。
3. 咬合関係を確認します。無歯顎あるいは咬合関係が失われている有歯顎の場合は、サポーティングウイングを使用します。有歯顎で咬合関係が明確な場合は、レギュラーサポートを使用します。
4. サポーティングウイングを使用する場合 (無歯顎あるいは咬合関係が失われている有歯顎の場合) は、リテイニングトラックの遠心部から装着し、本品を口腔内に試適します。レギュラーサポートを使用する場合 (咬合関係が明確な有歯顎の場合) は、リテイニングトラックに挿入し、歯牙欠損部に装着します。必要であれば、トリミングをして調整します。
5. 咬合高径を測定するために、患者の鼻頭および顎にマーカーを使用して印をつけます。この時、無歯顎または咬合関係の失われた有歯顎の場合、患者の旧義歯を装着し測定するか、印象材を盛っていない本品を口腔内に挿入し、湿らせた口唇で本品のリップサポートを軽く1～2分間保持し、その後マーキング間の距離を測定します。咬合関係が明確な有歯顎の場合は、咬合時の顎間距離を測定します。

6. 製造業者の説明書に従って練和した、シリコン印象材またはアルギン酸印象材を本品に盛ります。

7. 口腔内に本品を挿入し、下顎の顎堤あるいは下顎の歯列に合わせます。リップサポートに口唇を位置させ、測定した咬合高径までゆっくりと閉口させます。そのまま印象材の硬化を待ち、再度高径を確認し本品を取り出します。

8. ユニバーサルトランスファーボウを使用し咬合器に装着するための患者情報を採取します。トランスファーボウを装着し、本品は、コネクタ部分で結合させます。レジストレーションジョイントを固定し、トランスファーボウを外し、採得した印象を技工所に渡します。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

本品を試適するときは丁寧に扱い、口腔内を傷つけないように注意すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)